

## 「卒業証書授与式」

3月1日（日）10時から相馬高校第一体育館で、卒業式があった。

新型コロナウイルス対応のため、在校生は出席せず、卒業生と保護者のみ、来賓も同窓会とPTA関係等の10名ほどに絞られた。

馬城会関係は、会長、佐々木政喜副会長（相馬支部長）と岩井雄一副会長（福島支部長）、遠藤政弘監事（学校評議員）、加藤憲郎新地支部長、平間勝成原町支部長の6名が出席した。

卒業証書授与は、まず、普通科4クラスは各担任が呼名、ほとんどの生徒が「はい」とはっきりと返事、最後に、127名（※）の代表荒くんに卒業証書が校長から授与された。理数科1クラス39名は、呼名後、代表久米本くんに卒業証書が授けられた。



（代表）普通科 荒くん



（代表）理数科 久米本くん

（※）今年の卒業学年は、入学のとき30名ほどの欠員があった。東日本大震災と原発事故の影響で、相双地区の中学生徒数が減少したためである。現1、2年生は、普通科が1クラス減、学年4クラス構成となっている。

校長式辞と福島県教育委員会の蜂須賀禮子教育委員からはなむけのことばがあり、来賓祝辞は、時間短縮のため省かれ、ペーパーでの配布となった。

1、2年生はいなかったが送辞は生徒会長の中塚くん、答辞は伏見くんだった。



答辞を読み語る伏見くん



肅然たる相高生

校歌斉唱、卒業生と共に、先生方、来賓の馬城会員も全員起立し、声高らかに懐かしい校歌を歌ったのである。

なお、当日配られた馬城会長の祝辞は、瓦版 第6号として、載せる予定である。

(3月5日：村山記)